



2023 学校案内

SCHOOL GUIDE 2023



静岡県立浜松北高等学校



沿革

| | | |
|---------|--------|---|
| 明治 27 年 | 4月17日 | 敷知・浜名・長上3郡、浜松町組合立として現在の浜松市元城町に設立、静岡県尋常中学校浜松分校と称した |
| 大正 13 年 | 4月 1日 | 静岡県立浜松第一中学校と改称 |
| 昭和 3 年 | 8月 | 全国中学校水泳大会初優勝(昭和3年～5年連続優勝) |
| 昭和 7 年 | 8月 | ロサンゼルスオリンピック大会にて宮崎康二(4年)100m自由形、58秒2のオリンピック新記録で優勝、800mリレーに8分58秒4の世界新で優勝 |
| 昭和 24 年 | 4月 1日 | 静岡県立浜松北高等学校と改称 |
| 昭和 28 年 | 3月 | 第25回全国選抜高校野球大会に出場 |
| 昭和 44 年 | 3月 | 第41回全国選抜高校野球大会に出場 |
| 平成 元 年 | 11月10日 | 新校舎落成(鉄筋コンクリート5階建) |
| 平成 3 年 | 4月 1日 | 国際科1学級を設置 |
| 平成 6 年 | 8月31日 | 100周年記念資料館竣工 |
| | 10月15日 | アクトシティ大ホールにて創立100周年記念式典を挙行 |
| 平成 14 年 | 7月27日 | 第24回全国高校小倉百人一首かるた選手権大会団体優勝 |
| 平成 16 年 | 11月13日 | 創立110周年記念新部室落成式挙行 |
| 平成 20 年 | 5月12日 | 国際学生科学技術博覧会(世界大会)企業・学会推薦特別賞(地学部) |
| 平成 24 年 | 7月 | 数学オリンピックアルゼンチン大会に林興養が出席 |
| 平成 26 年 | 7月13日 | 第25回国際生物学オリンピックで那須田柱が金メダルを受賞 |
| 平成 26 年 | 11月24日 | 創立120周年記念式典挙行 |
| 平成 28 年 | 3月 | テニスコート5面、陸上短距離用4コースの全天候対応竣工 |
| 令和 4 年 | 3月21日 | 第33回全国高等学校選抜ボート大会女子シングルスカルで高橋莉子が優勝 |
| | 8月14日 | 全国高等学校総合体育大会ボート競技女子シングルスカルで高橋莉子が優勝 |

学校教育目標

学問と知性を愛する豊かなこころ、
良識に基づく自主独立の精神を基盤として、
心身の調和的発達を図り、
文化国家の形成者として社会の要請に応える
とともに、広く世界的視野に立って人類の発展に
寄与できる人間を育成する。

普通科

令和6年度生
授業科目(予定)



| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|-------|------|------|------------------------|------------------------|----------|----------|----------------------------|----------------------------|--------------|----------|-----------------|--------------|---------------|---------|---------|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 |
| | 第1学年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 現代の国語 | 言語文化 | 地理総合 | 歴史総合 | 数学I | 数学A | 数学II | 物理基礎 | 生物基礎 | 体育 | 保健 | 芸術I | 英語コミュニケーションI | 論理・表現I | 数学Ⅱ/総合Ⅱ | 情報I | 蜻蛉 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 第2学年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 理系 | 論理国語 | 文学国語 | 古典探究 | 公共 | 数学II | 数学III | 数学B | 数学C | 化学基礎 地学基礎 | 化学 地学 | 物理 生物 | 体育 | 保健 | 英語コミュニケーションII | 論理・表現II | 数学Ⅲ/総合Ⅲ | 家庭基礎 | 蜻蛉 | | | | | | | | | | | | | | |
| 文系 | 論理国語 | 文学国語 | 古典探究 | 世界史探究 日本史探究 地理探究 | 世界史探究 日本史探究 地理探究 | 公共 | 数学II | 数学B | 数学C | 化学基礎 地学基礎 | 体育 | 保健 | 芸術II | 英語コミュニケーションII | 論理・表現II | 数学Ⅲ/総合Ⅲ | 家庭基礎 | 蜻蛉 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 第3学年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 理系 | 論理国語 | 文学国語 | 古典探究 | 地理探究 政治・経済 | 公共演習 | 数学IⅡAB演習 | 数学III演習 | 化学 地学 | 物理 生物 | 体育 | 保健 | 英語コミュニケーションII演習 | 論理・表現II | 蜻蛉 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 文系 | 論理国語 | 文学国語 | 古典探究 | 地理探究 日本史探究 世界史探究 | 地理探究 日本史探究 世界史探究 | 倫理 | 数学IⅡAB演習 | 物理基礎演習 生物基礎演習 地学基礎演習 | 化学基礎演習 生物基礎演習 地学基礎演習 | 体育 | 保健 | 英語コミュニケーションII演習 | 論理・表現II | 蜻蛉 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

国際科

令和6年度生
授業科目(予定)



| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|-------|------|------|------------------------|------------------------|-----------|--------------------|----------------------------|----------------------------|-----------------------|-----------------------|---------|--------|---------|---------|------|-------|-----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 |
| | 第1学年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 現代の国語 | 言語文化 | 地理総合 | 歴史総合 | 数学I | 数学A | 数学II | 物理基礎 | 生物基礎 | 体育 | 保健 | 芸術I | 総合英語I | 数学Ⅱ/総合Ⅱ | 情報I | 蜻蛉 | 英実践演習 | マルチメディア演習 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 第2学年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 理系 | 論理国語 | 文学国語 | 古典探究 | 公共 | 数学II | 数学III | 数学B | 数学C | 化学基礎 地学基礎 | 化学 地学 | 物理 生物 | 体育 | 保健 | 総合英語II | 数学Ⅲ/総合Ⅲ | 家庭基礎 | 蜻蛉 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 文系 | 論理国語 | 文学国語 | 古典探究 | 世界史探究 日本史探究 地理探究 | 世界史探究 日本史探究 地理探究 | 公共 | 数学II | 数学B | 数学C | 化学基礎 地学基礎 | 体育 | 保健 | 総合英語II | 数学Ⅲ/総合Ⅲ | 国際社会 | 家庭基礎 | 蜻蛉 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 第3学年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 理系 | 論理国語 | 文学国語 | 古典探究 | 政治・経済 | 数学IⅡAB演習 | 数学III演習 | 化学 地学 | 物理 生物 | 体育 | フランス語 スペイン語 中国語 | 総合英語III | 蜻蛉 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 文系 | 論理国語 | 文学国語 | 古典探究 | 地理探究 日本史探究 世界史探究 | 地理探究 日本史探究 世界史探究 | 総合英語III演習 | 数学IⅡAB演習 古典探究演習 | 物理基礎演習 生物基礎演習 地学基礎演習 | 化学基礎演習 生物基礎演習 地学基礎演習 | 体育 | フランス語 スペイン語 中国語 | 総合英語III | 蜻蛉 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

●色つきの科目は専門科目

普通科在校生からのメッセージ



37HR 渡瀬 勇
(静大附属浜松中出身)

「北高生は頭がいい。」よく世間で抱かれがちなイメージです。「がち」とは言いましたが、決して間違ったイメージではありません。県下では一、二を争う進学実績を持ち、授業の質は高く、先生や生徒のレベルもとても高いです。自身の志さえあれば、北高ほど学問するのに適した場所はそうありません。

しかし、受験のための勉強が北高の全てではありません。むしろそれを越えた学びにこそ本質があると言えます。

北高で学問と同等に学校生活を大きく占めるものが「行事」です。学校祭、合唱大会、うんどう会を総じて三大行事と呼ぶこともあります。全てが生徒主体で運営されています。クラスやブロックで一体となって優勝を目指し、ともに喜びや涙を分かち合うあの経験からは、ほかの何物からも得られない貴重な学びを得られます。リーダーとして、一構成員として、自分にできることを模索して実行する。社会に出て仕事を上でも非常に重要なスキルが、頑張った人に頑張った分だけ身につくことでしょう。

そのような学問や行事で最も自分を成長させてくれるもの、それはなんといっても人との関わりです。多種多様な価値観や高い志、そして優れた能力を持つ仲間と共に学び、共に行事を創り上げていくことを通じて、互いに刺激を受けながら、自身の個性を見つめ直し、自分をさらに高めることができます。自分の知らない世界に触れたり、一生物の深い友情が芽生えたり、この青春期ならではの貴重な体験があなたを待っていることでしょう。さらに言えば、北高には頼りになる先生方もたくさんいらっしゃいます。学習面での相談はもちろん、自分の将来に迷ったとき、人生に悩んでいるときにも、ためになるアドバイスを下さいます。

さて、ここまで綴ってきた様々な経験は、すべて「動いた人」にのみ与えられるものです。高校生の今しかできない経験を目一杯享受するために、積極的に行き行動し、多くの人と関わってほしいです。「北高生は頭がいいだけじゃない」ということを、三年間肌で感じてもらえたらと思います。



25HR 山田純大
(佐鳴台中学校出身)

「浜松北高校」と聞くと、皆さんは何をイメージしますか。「勉強」でしょうか。もちろんそれも間違いではありません。しかし、それだけでは、この学校のことを正しく説明しているとは言えません。僕は、浜松北高校は人生をよりよく、そして楽しく生きるための準備ができる場所だと思います。

まず北高には、切磋琢磨し合うことができる仲間がいます。勉強では高度な授業内容を理解しなければなりません。そのため、仲間と競い合いながら情報を交換して、勉強法に工夫や改善を図り、限られた時間の中で成果を出すための方策を見出す力が自然と身に付きます。また、様々な分野の専門的知識が豊富な友達もおり、毎日驚かされる事ばかりです。学習の過程で鍛えられた課題解決の力やユニークな友達との交流は、今後の自分にとって大きな財産になると思います。

また北高生は、部活動にも熱心に全力で取り組む人が多いと感じます。僕は初心者として卓球部に入りましたが、周りには既に卓球が上手な人が沢山いました。練習や試合の中で、悔しさや羨ましさを感じる事は多かったです。しかし、必死に努力してきた結果、部活動を通して、喜びや楽しさ、そして達成感を感じることも多くなっています。このような経験や仲間との絆は、何ものにも代え難い貴重なものだと思っています。

そして何と言っても学校行事は、人生に必要な力を培うことができる北高最大の特徴の一つです。「自主独立」と言われる通り、北高の行事は始めから終わりまで、すべて生徒自身の手で運営されます。各組織のリーダーは、様々な要素を頭に入れ、最善策を考えて計画を立案し、仲間に指示します。また、他のメンバーはリーダーをサポートし、全員でレベルの高い成果を創り上げていきます。とても大変な事ですが、その過程で人としての総合力が試され、また、鍛えられます。そして苦労して行事をやり遂げた時には、この上ない達成感が感じられます。ここでの経験や思い出も、一生忘れられない財産になること間違いなしです。

校外での様々な学習にチャレンジする人も多くいます。科学の甲子園や模擬裁判選手権、模擬国連、グローバル・サイエンス・キャンパス(GSC)関連事業など、どれも学校では学ぶことのできない様々なことを体験できる、価値のあるイベントやプログラムです。僕も「名大MIRAI GSC」というプログラムに挑戦し、とても貴重な経験をする事ができました。

浜松北高校は、学校世活を楽しみながら、自然と幸せで生きがいのある人生の準備ができる、そんな学校です。みなさんも、やりがいと人生の糧に溢れる北高で、二兎も三兎も、そして四兎も追う充実した高校生活を送ってみませんか。



17HR 権瓶まな
(八幡中学校出身)

「レベルの高い進学校だから、ここで頑張れば良い大学に行くことができ、箔が付くかな…」

私が受験生として浜松北高校に興味を持った当初はそんなイメージでした。実際、難関大学に進学した先輩も多く、学校名もネームバリューがあります。昨年、ある難関国立大学の合格者数ランキングに「浜松北」の名前を見つけたときは驚きました。

しかし、北高の魅力は進学実績だけではなく、学校祭、運動会、合唱大会などの行事も北高の大きな魅力の一つです。小学生の時に訪れた学校祭では、高校生の手作りとは思えないクオリティの高い展示物に圧倒されました。また、合計30以上ある部活にも、それぞれの魅力があります。浜松市内では珍しい部活動があり、どんな部活動に入ろうかと入学前から期待に胸を膨らませてきました。

そして、北高の特徴としてよく挙げられるのが「校則がほぼない」ということです。校則で縛られていなくても、乱れた服装をしている北高生は見たことがありません。校舎も少し古いですが、綺麗で清潔に保たれています。

北高には多くのことを学べる環境があります。支えてくれる先生と、ライバルでもある仲間が北高生を北高生たらしめています。私にとっての北高は、最初は「偏差値の高い高校」でした。しかし、学校説明会や学校案内を通して違う印象を抱くようになりました。北高には、北高にしかない魅力や学びがあります。

高校生となった今、私は北高とは「自分を大きく成長させてくれる唯一無二の場所」であると思っています。北高で様々なことに挑戦し、仲間との時間を過ごし、多くの学びを得て、未来の自分に大きな成長をプレゼントしてみませんか。

国際科在校生からのメッセージ



国際科3年
39HR 嶋野 葵
(天竜中出身)

皆さんは国際科にどんなイメージ持っていますか?「英語が得意な人たちが集まる科」と考える人もいるでしょう。しかし実際、国際科には英語が堪能な海外経験のある人もいますが、英語が特別得意というわけではなく、英語が好き、海外に興味がある、という理由で国際科を選んでいる人も多くいます。

それでは国際科について簡単に紹介しようと思います。

まず国際科は各学年1クラスずつで定員は40人です。多くの授業が少人数で行われるため質問がしやすい環境です。また、普通科同様、自由な文理の選択ができます。

国際科には国際科独自の活動であるイングリッシュデイ、校外学修(国内プログラム・ニュージーランドプログラム)、オクトーバープロジェクトや、第二外国語(フランス語・中国語・スペイン語の中から一つ選択)の授業などがあります。校外学修国内プログラムではSDGsについて留学生と議論したり企業に取材をした内容をプレゼンしたりします。オクトーバープロジェクトでは広沢小学校で英語の授業を行います。このような体験は普通に生活していたらなかなかできません。そしてこれらに一生懸命取り組むことがコミュニケーション力やチャレンジ精神の向上に繋がります。

約3週間のニュージーランドプログラムでは、ホームステイと現地の高校生活を体験し、文化の違いや言葉の壁を実感して、こんな世界もあるのだなと自分の視野を広げることができます。また、現地に行く前は自分の英語力に不安があっても、簡単な英語だけでも生活できて数人の友達も作る事ができます。

以上のように国際科はとにかく忙しいですが、3年間クラス替えがないため団結力がとてつもなく強い国際科のクラスメイトとなら共に乗り越えていけます。個性を尊重でき挑戦を後押ししてくれる国際科ファミリーと是非素晴らしい高校生活を送ってください。

国際科の教育の特色

- 1.各学年で専門科目を学び、広い視野を身につけ、自国及び国際理解を深めます。
- 2.語学教育とグループ活動を通じ、豊かなコミュニケーション能力を身につけます。
- 3.授業や行事の様々な場面で、メディアリテラシーを磨き、国際的な舞台上で発信する力を養います。
- 4.専門科目を中心に、小集団授業を実施し、個々の生徒に応じた指導を行います。
- 5.普通科と共通の学校行事に加え、下に紹介するような独自の行事があります。

国際科の3年間



イングリッシュデイ

2年生の校外学修の体験発表を聞き、事前学習を開始します。また、「英語の日」として英語運用能力向上の基礎固めをします。

1年

校外学修

英語によるコミュニケーションの実践と異文化体験をします。希望制ではなく、全員参加の必修授業です。

1.プログラムの内容(例)

- (1)国内プログラム
オールイングリッシュでのリサーチ活動と研究発表。
- (2)ニュージーランドプログラム
 - (i)現地高校の授業に参加
現地の高校生とともに授業を受け、学校行事に参加。
 - (ii)ホームステイ
1家庭に本校生徒1人または2人のホームステイ。週末もホストファミリーと共に過ごし、現地の生活を体験。

2.経費

70~80万円

3.実施時期

- (1)国内プログラム
1年次の1月下旬から2月上旬の約1週間
- (2)ニュージーランドプログラム
1年次の2月下旬から3月中旬の約3週間



▲校外学修(ニュージーランドプログラム)



▲校外学修(国内プログラム)

イングリッシュデイ

学校生活や校外学修を英語によるプレゼンテーションの形で発表。



▲イングリッシュデイ

2年

オクトーバープロジェクト

校外学修の経験を活かした実践的な活動を行う。小学校での英語授業、国際協力機構(JICA)訪問、留学生との交流、伝統文化の体験などの4日間の研修。



▲オクトーバープロジェクト



▲オクトーバープロジェクト

進路実現

3年

文系、理系を問わず、国立・私立大学のすべての学部への進路に対応した授業編成

卒業生からのメッセージ



京都大学[文学部]進学

川村結吾 [袋井中出身]

国際科とは、通常の高校の学習に加え、国際社会で活躍する能力、「国際力」をつける場が揃っている学科です。まず国際力には、英語力が欠かせません。国際科では、ALTとの少人数授業や国内外の研修など、学んだ英語を実際に運用する場が充実しています。英語を「勉強する」に留まらず「使う」段階までのプロセスを繰り返すことで、英語能力やモチベーションの向上はもちろん、プレゼン、ディスカッションのスキルも身につきます。

さらに、国際力には多様性を理解する能力が必要です。国際科の研修では、英語圏に留まらず、世界各国出身の異なる文化的背景を持った方と関わります。そして、興味深く魅力的な多様な文化に触れることで、自分の中のいわゆる「普通」が世界という範囲でみれば一つの「特徴」に過ぎないということに気づきます。このような国際的な感性を身につける場がたくさんあります。

その影響か、国際科自体の多様性も実に豊かです。勉強に励むのは当然のこと、部活動に打ち込んだり、行事の活動を熱心に行う人がたくさんいます。進路に関しても、文系の人もいれば理系の人もいますし、高校卒業後直接留学する人もいます。誰がどの進路に進むにせよ、それを妨げる人・物はありません。互いに切磋琢磨し、自分の望む将来に向かっていくことができます。

以上のように、国際科には、今の時代にかかせない「国際力」をつけると共に、自分の望む将来を実現するための場がたくさんあります。その「場」を糧とするのはあなた自身です。どうぞ頑張るなら最高の環境で頑張りたい、そう思いませんか。

令和5年3月卒業生の進路状況(普通科・国際科)

卒業後の進路

R5.4.1現在

| 卒業 生徒数 | 進 学 者 | | | | | | | 専修 学校 | 留 学 | その他 | 進学準備 |
|-----------|-------|-----|-----|------|-----|-----|---|----------|-----|-----|------|
| | 四年制大学 | | | 短期大学 | | | | | | | |
| | 国 立 | 公 立 | 私 立 | 国 立 | 公 立 | 私 立 | | | | | |
| 397 | 146 | 19 | 91 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 137 | |

大学合格者数 ()内は新卒の内数

| 国 立 大 学 | 京 都 大 学 | 18 (10) | 私 立 大 学 | 南 山 大 学 | 34 (33) |
|---------------|---------|---------------|-----------|---------------------|------------|
| 北 海 道 大 学 | 15 (11) | 大 阪 大 学 | 21 (9) | 青 山 学 院 | 14 (12) |
| 東 北 大 学 | 9 (4) | 神 戸 大 学 | 5 (3) | 学 習 院 | 3 (3) |
| 筑 波 大 学 | 2 (2) | 広 島 大 学 | 8 (6) | 北 里 大 学 | 4 (2) |
| 千 葉 大 学 | 7 (4) | 九 州 大 学 | 5 (3) | 慶 應 義 塾 | 22 (9) |
| お茶の水女子大 | 2 (1) | そ の 他 | 38 (25) | 国 際 基 督 教 大 学 | 0 (0) |
| 東 京 大 学 | 10 (5) | 計 | 256 (161) | 駒 澤 大 学 | 12 (7) |
| 東 京 外 国 語 大 学 | 3 (3) | 公 立 大 学 | | 順 天 堂 大 学 | 9 (6) |
| 東 京 学 芸 大 学 | 2 (2) | 東 京 都 立 大 学 | 2 (1) | 上 智 大 学 | 15 (6) |
| 東 京 工 業 大 学 | 4 (2) | 横 浜 市 立 大 学 | 5 (2) | 専 修 大 学 | 5 (4) |
| 一 橋 大 学 | 5 (2) | 静 岡 県 立 大 学 | 6 (4) | 中 央 大 学 | 30 (10) |
| 横 浜 国 立 大 学 | 6 (5) | 名 古 屋 市 立 大 学 | 10 (7) | 津 田 塾 大 学 | 4 (4) |
| 金 沢 大 学 | 4 (3) | 大 阪 公 立 大 学 | 6 (0) | 東 京 理 科 大 学 | 77 (18) |
| 静 岡 大 学 | 34 (22) | そ の 他 | 14 (10) | 法 政 大 学 | 25 (16) |
| 浜 松 医 科 大 学 | 15 (8) | 計 | 43 (24) | 明 治 大 学 | 69 (22) |
| 名 古 屋 大 学 | 39 (28) | 国 公 立 医 学 科 | 33 (12) | 立 教 大 学 | 28 (18) |
| 名 古 屋 工 業 大 学 | 4 (3) | | | 早 稲 田 大 学 | 44 (20) |
| | | | | 計 | 935 (515) |
| | | | | 4 年 制 大 学 合 格 者 総 数 | 1234 (700) |

※国公立医学科には防衛医科大学校医学科1含む
※海外大学合格者数は5

国際科大学過去5カ年の現役合格者数 ()内は令和5年3月卒業生の内数

| 国 立 大 学 | 大 阪 大 学 | 4 (2) | 神 戸 外 国 語 大 学 | 5 | 明 治 大 学 | 19 |
|---------------|---------|-----------------|---------------|---------------|---------|---------------------|
| 筑 波 大 学 | 1 | 奈 良 女 子 大 学 | 1 | 名 古 屋 市 立 大 学 | 2 (1) | 明 治 学 院 大 学 |
| 千 葉 大 学 | 3 | 神 戸 大 学 | 2 | 都 留 文 科 大 学 | 1 | 立 教 大 学 |
| 東 京 大 学 | 2 (1) | 広 島 大 学 | 1 | 宮 城 大 学 | 1 | 早 稲 田 大 学 |
| 東 京 外 国 語 大 学 | 3 | 徳 島 大 学 | 2 (1) | 私 立 大 学 | | 南 山 大 学 |
| 東 京 学 芸 大 学 | 1 | 九 州 大 学 | 1 | 青 山 学 院 | 10 (2) | 同 志 社 大 学 |
| 横 浜 国 立 大 学 | 1 | 公 立 大 学 | | 慶 應 義 塾 | 6 (1) | 立 命 館 大 学 |
| 静 岡 大 学 | 4 (2) | 東 京 都 立 大 学 | 1 | 上 智 大 学 | 6 (1) | 関 西 大 学 |
| 浜 松 医 科 大 学 | 5 (1) | 横 浜 市 立 大 学 | 2 | 中 央 大 学 | 11 (1) | 関 西 学 院 大 学 |
| 名 古 屋 大 学 | 4 (1) | 国 際 教 養 大 学 | 1 (1) | 津 田 塾 大 学 | 16 (3) | 海 外 の 大 学 |
| 愛 知 教 育 大 学 | 1 | 静 岡 県 立 大 学 | 3 (2) | 東 京 理 科 大 学 | 4 | ト ロ ン ト 大 学 |
| 三 重 大 学 | 1 (1) | 静 岡 文 化 芸 術 大 学 | 3 | 東 京 女 子 大 学 | 4 | マ グ イ ル 大 学 |
| 京 都 大 学 | 2 (1) | 愛 知 県 立 芸 術 大 学 | 1 | 法 政 大 学 | 16 (2) | ア ー カ ン ソ ー 州 立 大 学 |



東京大学[理科I類]進学

宇井海翔 [中部出身]

皆さんが浜松北高校と聞いてどのような学校だと思いますか。勉強ができる学校、行事に真剣な学校、自由な学校。全てあてはまります。ただその根底にあるのはレベルの高い友がいることにあるのです。周りを見渡せば、JMO や科学の甲子園、情報オリンピックに取り組む友、文学や歴史に詳しい友、スポーツ万能な友、話術に長けた友。まさに十人十色な学校です。

そんな学校で過ごす3年間は、光陰矢の如し。1年生の時は、上級生に北高の伝統を教えて貰いながら、部活動や三大行事を経て北高らしい人間性が鍛えられます。2年生の時には、上の代から授かった伝統を先輩に教えながら先輩の後ろ姿を真似していく。そして3年生の時には、行事のリーダーとして動の時期の学校全体を引っ張っていき、秋から冬にかけては勉強に精進して静の時期を牽引していきます。この過程を経る事でグローバルに活躍できるような能力を得られます。

北高に入学したいという気持ちがある一方、自分は特別誇示できることが無いから大丈夫だろうか、そんなことを考える人もいます。「人は人、自分は自分」これは私の座右の銘ですが、相手の能力に打ちひしがれるのではなく、それを受け入れ、それとは違う自分の強さを磨いて欲しいです。最後に、勉強は教養を身につける行為です。北高合格よりも、そこで何を学ぶかの方が大切です。妥協することなく日々努力を重ねてください。



京都大学[経済学部]進学

古橋京花 [神久呂出身]

私が思う北高の魅力は、なんと言ってもやはり自由な校風にあると思います。県内屈指の進学校である北高には高い思考力を持つ人が多くいます。そのため、何もかも縛り付けるのではなく、生徒自身が考え、行動することができるようゆとりを持たせているのだと思います。学校行事を例に挙げると、うんどう会や、学校祭などでは、先生方の手を借りることはほとんどせず、出来るだけ生徒達だけで作り上げます。それによって、クラスや、縦割りブロックでの団結力を高めたり、協調性を学んだりすることができます。また、北高には多様な考えを持つ人々と交流することができるという魅力もあります。考える力を持つ人が多く集まる北高では、友人達と話をすることで、今まで自分が当たり前だと思っていたことがそうではなかったことに気付いたり、新しい知識を得られたりします。私自身も、高校生活の中で友人達にたくさんのことを教えてもらいました。先生方も、授業中に教科書の内容を説明するだけではなく、これからの生活で役に立つような情報まで教えてくださいました。

北高の魅力はまだあります、言葉では伝えきれないので、実際に北高に入ってそのたくさんの魅力を感じてください。最後に、北高では、よく「二兎も三兎も追え」と言われます。私はこの言葉を、二兎も三兎も追うくらいの気概を持って自分が定めた目標に向かって突き進むことだと解釈しています。北高を目指している皆さん、ぜひ二兎も三兎も追う気持ちで頑張ってください。

部活動

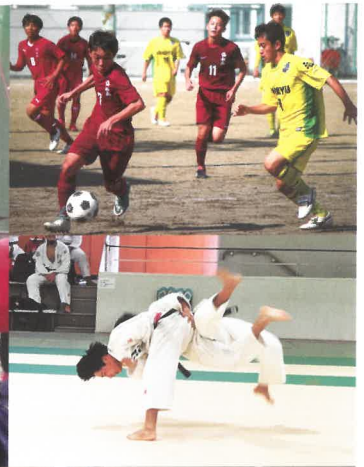
普通科・国際科共通

運動部

剣道 サッカー
 陸上競技 バスケットボール(男・女)
 柔道 卓球
 洋弓 テニス(男・女)
 バレーボール(男・女) 山岳
 水泳 漕艇
 硬式野球 空手



全国選拔出場



文化部

英語ディベート 芸術
 新聞鑑賞 ・写真班
 音楽鑑賞 ・美術班
 吹奏楽 ・書道班
 合唱 自然科学
 軽音楽 楽劇道
 演茶華道 ・物理・化学班
 百人一首送 ・生物班
 放 ・地学班
 ・数学班
 囲碁・将棋
 ・囲碁班
 ・将棋班



全国高校総体優勝



全国高校総体2位



全国グランプリ出場



全国総文祭出場



全国大会出場

北高の四季

◆行事予定は途中で変更になることもあります。



入学式

入試を乗り越え、
喜びの門をくぐる

4
April

遠足・ X-LHR

新クラスの融和をはかる

5
May

学校祭

並外れた企画力と団結力が作り出す展示物は圧巻



合唱大会

レベルの高い合唱の競演その歌声は観衆を幸福に包み込む

6
June



特別講義

各界で一流の講師を招く北高ならではの行事

7
July



8
August

運動会

3年生を中心に、ショートタイムとデコレーションでアピール

9
September



10
October

修学旅行(普通科)

目的地の調査を通して各地の歴史や文化に触れる

11
November



沖縄コース

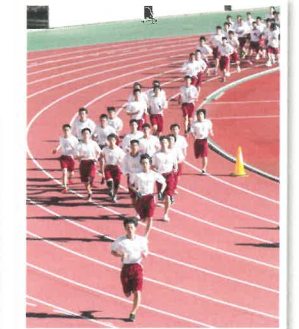


関西コース

12
December

長距離走大会

小笠山運動公園内を走り
エコパスタジアムでゴールする



1
January

2
February

校外学修(国際科)

国内及びニュージーランドにて
約一ヶ月間、現地の文化を学び、
語学を磨く



3
March

卒業式



北海道コース



静岡県立浜松北高等学校

〒432-8013 浜松市中区広沢1丁目30-1
TEL.(053)454-5548 FAX.(053)456-3316

[email] hamamatsukita-h@edu.pref.shizuoka.jp
<http://www.edu.pref.shizuoka.jp/hamamatsukita-h1/home.nsf>

■ JR浜松駅から約2.7km

○自転車で約15分

○バスで約15分

バスターミナル(1・15・16番)
より乗車、『浜松北高』下車。

